

食糧収量予測のためのデータ同化システム Data assimilation system for food production estimation

樋口 篤志^{1*}, 佐々井 崇博², 永井 信³
HIGUCHI, Atsushi^{1*}, Takahiro Sasai², Shin Nagai³

¹ 千葉大学環境リモートセンシング研究センター, ² 名古屋大学環境学研究科, ³ 海洋研究開発機構

¹Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, ²Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University, ³JAMSTEC

衛星プロダクトの高度化により, 日射量, 降水量, 土壌水分量が既に生成されている. 将来的にはこれらのプロダクトはより高解像度化, 高時間分解能化することにより, 陸域研究のニーズとして必要とされるより詳細な解像度, ならびに導出パラメータを増やすことができる. 近い将来にはこれらのプロダクトを元に, 天気予報と同じレベルである程度オペレーショナルにデータ同化を中心に食糧収量予測が行われる可能性がある. その際に高空間分解能光学センサデータや, SAR データが収量予測同化システムに対しどのように貢献しうるか, また地上検証体制も含めた検証システムはどうあるべきか, について議論したい.

キーワード: 陸域研究, リモートセンシング, 同化システム

Keywords: Terrestrial Studies, Remote Sensing, Data Assimilation